

2018年6月29日

報道関係各位

三菱地所株式会社

## 『街のブランド化に向けた丸の内再構築の地域協働型プロデュース』が 「第2回 日本サービス大賞」内閣総理大臣賞を受賞

三菱地所株式会社は、これまで120年以上にわたって丸の内エリアの開発を手掛けてまいりましたが、今般、優れたサービスを表彰する「第2回 日本サービス大賞」（主催：サービス産業生産性協議会）において、当社の『街のブランド化に向けた丸の内再構築の地域協働型プロデュース』（以下、「本取り組み」）が応募総数392件の中で最も優れた1件に贈られる内閣総理大臣賞を受賞しましたのでお知らせします。

本取り組みは、丸の内エリアのビジネスセンターとしての価値を捉え直し、「世界で最もインタラクションが活発な街」をコンセプトに、従来のディベロッパーの枠を超え、公的空間も含めた丸の内エリアの街全体の変革をトータルプロデュースするサービスです。評価いただいた点は、以下の通りです。

### 【評価ポイント】

- ・日本を代表するビジネスセンターとして、グローバル都市・東京の国際競争力を向上させており、イノベーションの発信基地に向けた街づくりが現在も続いている。
- ・ハードとソフトの両面から街づくりを進め、土日も賑わう丸の内エリアを実現している。
- ・エリア内の約7割を占める他の地権者との協議体制および地権者と千代田区・東京都・JR東日本との公民連携体制を構築した。
- ・本取り組みは、日本独自の場のデザインと同時にグローバルへの普遍性を持つ。

### ■ サービス産業生産性協議会（以下、SPRING）について

SPRINGは、サービス産業のイノベーションや生産性向上を推進・支援することを目的に、2007年に設立された産学官のプラットフォームであり、「日本サービス大賞」は、国内すべてのサービス提供事業者を対象に、優れたサービスを表彰するものです。「第2回 日本サービス大賞」では、選考対象392件の中から内閣総理大臣賞1件をはじめ、地方創生大臣賞4件、サービスを管轄する各省の大臣賞5件、優秀賞7件、JETRO理事長賞1件の計18件が選出されました。

当社は、今後も「まちづくりを通じて社会に貢献します」という基本使命のもと、更なる未来への街づくりに貢献していくと共に、日本のサービス産業の発展に寄与してまいります。



▲丸の内エリア（丸の内仲通り）



▲6月28日授賞式の様子

<参考> 受賞した『街のブランド化に向けた丸の内再構築の地域協働型プロデュース』について

当社の丸の内エリアの開発は、1890年（明治23年）に明治政府から土地の払い下げを受けたことから始まります。明治の近代化に伴い赤レンガのオフィス群を開発した第1次開発。続く第2次開発では、1950年～70年代に大規模ビルへと建替えを行い、高度経済成長期の旺盛なオフィス床ニーズに応えました。しかしながら、その後、20年以上手付かずとなり、時代の先端から取り残されてしまいました。

当社は、周辺地権者と共に、都心機能の高度化を図るとともに風格ある都市景観、多様な都心文化機能等の導入を実現する街づくりを進めるため、1988年に「大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会」を設立。その後、1995年に旧丸ビルの建替えを発表し、「丸の内再構築」という第3次開発を開始しました。

2001年には丸の内の目指す姿を「世界で最もインタラクションが活発な街」と定め、街ブランド戦略を進めるとともに、2002年の丸ビル竣工を皮切りに、2003年～05年には各1棟を竣工、2007年には新丸ビルを竣工させました。ビル単体の開発だけではなく、従来は銀行店舗が立ち並び、毎日15時には路面の銀行店舗のシャッターが下ろされ、閑散としていた丸の内仲通りを再整備。それまでのビジネスに特化した街から、多様性のある街へと転換を図るべく、来街者を広く迎え、街を回遊できるような環境を創出するため、歩道を広げ、沿道には飲食店やブランドショップを誘致した結果、人の流れが生まれるようになりました。

2009年には三菱一号館復元を含んだ丸の内パークビルが竣工。直近では、地下1,500mから「大手町温泉」を採掘した大手町フィナンシャルシティ グランキューブや丸の内エリア初のサービスアパートメントを導入した2017年1月竣工の大手町パークビルディングなど、2002年の丸ビル竣工から15年間で12棟の再開発を進めました。

## ■国際競争力の強化に資する先進的で魅力的な街づくりを推進

- ・ 公民が連携し、歴史と環境を豊かに持続させながら、社会と経済の発展を先導する街づくりを推進しています。丸の内は、エリア全体での取組を積極的に進め、世界のビジネスセンターの先導的な模範となり、東京の地位向上の牽引役となりました。
- ・ また、特例容積率適用区域制度を活用した容積移転（東京駅⇄エリア内複数ビル）や大手町連鎖型都市再生プロジェクト等、地権者のニーズに応えた開発手法の実現等により、エリア内の他地権者における建替え等での機能更新にも寄与しています。
- ・ 今後も日本経済の中核として、高いエリア防災力を備えた安全性のもと、社会、経済、文化、環境が高い次元でバランスをとり、新たな価値を創造し続ける街を目指します。

## ■ハードとソフトの両面から街づくりを推進

<ハード面>

- ① 賑わい機能  
ショップ・レストラン、公的空間（丸の内仲通り、行幸通り〔地上・地下〕、大手町川端緑道）、空地・アトリウム
- ② 文化・都市観光機能  
三菱一号館美術館、国際フォーラム、日本旅館（星のや）、ホテル（ペニンシュラ東京、パレスホテル、丸の内ホテル等）、サービスアパートメント（アスコット丸の内東京）、大手町温泉
- ③ 産学連携・インキュベーション・イノベーション機能  
丸の内フロンティア、東京21cクラブ、EGG JAPAN、東京金融ビレッジ、Global Business Hub Tokyo、FINOLAB、The Premier Floor Marunouchi、エコツェリア、3×3 Lab Future
- ④ 就業支援機能  
託児所、フィットネスクラブ、クリニック（国際医療、女性専用等）、慶応丸の内シティキャンパス

<ソフト面>

上記各施設では、ソフト面のプログラムを実施しています。

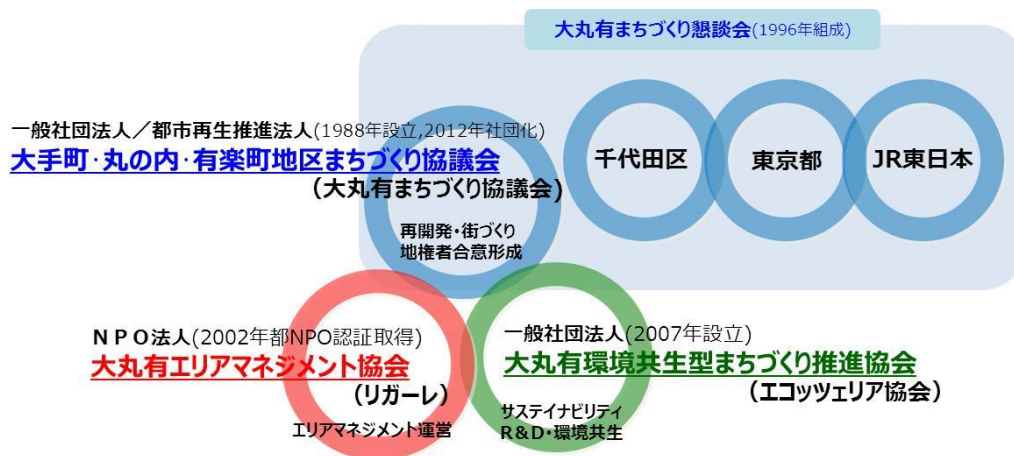
(一例) エリアイベント (ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 丸の内エリアコンサート、丸の内イルミネーション)、講座プログラム (丸の内朝大学) 等

## ■公民連携による街づくりの推進

### ・公民連携の基盤となる組織体制の構築

1988年の「大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会」設立、1996年の「大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり懇談会」設立に代表されるように、当社は当地区の民間最大地権者の立場で公民連携に係る組織体制の構築・発展に積極的に貢献してきました。街づくりに係る地権者の合意形成の役割を担う「大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会」、エリアマネジメントの運営を担う「大丸有エリアマネジメント協会」、環境共生・サステイナブルの活動を担う「エコツェリア協会」の3団体が中心となり、公民連携のもと、街づくりを推進しています。

街づくりの目標(ガイドライン)を共有し、定期的に更新し続けることで、都市の価値創造が総合的に機能し、プロジェクトの実現と地域コミュニティの発展が両立する街を目指し、持続性・永続性の高い公民連携の更なる強化に向けた取り組みを行っています。



▲丸の内エリアの街づくり組織体制

### ・公民連携の施策

公民連携により、丸の内仲通り・行幸通り等の公的空間における賑わい・交流空間の実現に加え、他エリアの先駆けとなる各種開発手法を実現し、地権者の個別ニーズと社会要請に対応する街づくりを推進してきました。

### ・エリアマネジメントの推進

「大丸有エリアマネジメント協会」が中心となり、人々の交流と新たなイノベーションを生み出すエリアマネジメントを目指し、エリアでの活動の充実を図っています。2017年4月には、都心型MICEの誘致を促進する「DMO 東京丸の内」がエリア内のMICE関係会社・団体をメンバーとして発足するなど、2020年までに予定されている国際スポーツイベント(ラグビーW杯、東京オリンピック・パラリンピック)等を契機に一層高まるビジネス交流を視野に入れた取り組みが進んでいます。



## ■丸の内再構築に関する主な指標

<p>朝大学 受講者数</p> <p>約<b>1.7</b>万人</p> <p>(開始以来の累計)</p>	<p>三菱一号館美術館 来館者数</p> <p>約<b>250</b>万人</p> <p>(開館以来の累計)</p>	<p>丸の内イルミネー ション来場者数</p> <p>約<b>690</b>万人</p> <p>(2015年開催時)</p>
<p>エリア従業者数</p> <p>約<b>28</b>万人</p> <p>約<b>23</b>万人 (2002年→2014年)</p>	<p>エリア事業所数</p> <p>約<b>4,300</b>所</p> <p>約<b>3,500</b>所 (2002年→2014年)</p>	<p>当社ビル外資系企業数</p> <p><b>155</b>社</p> <p><b>117</b>社 (2002年→2017年)</p>



▲公的空間(行幸通り)での  
打ち水イベント



▲丸の内イルミネーション

## ■丸の内再構築の成果が評価され、丸の内エリアは様々な賞を受賞(主な受賞歴)

- ・「グッドデザイン賞」/丸の内仲通り(2000年度、2014年度の2回受賞)
- ・「都市景観大賞 主催:国土交通省」/丸の内仲通り(2015年度)
- ・「日本都市計画学会 石川賞」/大手町・丸の内・有楽町地区(2010年度)
- ・「先進的まちづくりシティコンペ 国土交通大臣賞」/大手町・丸の内・有楽町地区(2016年度)

## ■丸の内の移り変わり



▲1992年 丸の内空撮写真



▲1960年の丸の内仲通りの様子



▲2016年 丸の内空撮写真



▲現在の丸の内仲通り